



熊本県教育会館ニュース

発行所
熊本市中央区九品寺1丁目11-4
熊本県教育会館事務局
TEL 096-372-3800
編集・発行 平江 佳幸
印刷所 ホープ印刷株式会社

- 2・3面**
平成26年度事業報告
- 3面**
図書寄贈校のお知らせ
会館共済キャンペーンのお礼
- 4面**
平成27年度事業計画
教育会館寄席のお知らせ
セミナー等のご案内

一般財団法人としての2年の歩みをふまえ、新たな体制で、平成27年度の教育会館事業の展開を図ります

一般財団法人に移行して2年が経ち、今年度は役員改選期を迎えました。5月28日に第5回評議員会で役員定年規則の改正案と役員選任議案の承認をいただきました。また評議員では、年度末の定期異動等により、田中和幸氏、渡邊昭昭氏が辞任され、新たに小林博氏、松本克己氏が就任されました。5月14日の第10回理事会で検討した平成26年度の事業報告、決算及び監査報告、平成27年度の事業計画・予算案等も、評議員会で承認していただき



平江 佳幸

理事長新任あいさつ

4月に行われました統一地方選挙において、岩田智子理事長が県会議員選挙に出馬し、見事当選を果たしました。議員活動に専念するために理事長職を勇退することになり、第13回理事会で理事長に選出していた平江佳幸と申します。皆様方には日頃より熊本県の教育振興にご尽力いただいておりますことに敬意を

表しますとともに、一般財団法人熊本県教育会館に対しましてご理解とご協力をいただいていることに深く感謝申し上げます。

本会館は熊本県教育の振興・発展に寄与することを目的に事業を推進しており、引き続き共助・共生の精神をもって皆様の福利厚生・文化事業の充実のために力を尽くしていきたいと思っております。どうぞこれからも変わらぬご支援・ご指導をいただきますようお願い申し上げます。ご挨拶とさせていただきます。

評議員、役員(理事・監事) 平成27年7月10日現在 ※年齢は平成27年4月1日現在

氏名	性別	年齢	区分(所属等)	備考
大塚 敏彦	男	54	全体区分 (熊本県教育庁)	
松永 健	男	59	〃 (熊本市教育委員会)	
角居 恭一	男	64	〃 (小中学校校長会)	
小林 博	男	60	〃 (県立学校校長会)	
松本 克己	男	55	地域区分 (南阿蘇西小学校)	
丸野 純哉	男	59	〃 (尾ノ上小学校)	
久木田絹代	女	57	〃 (合志中学校)	
上杉謙一郎	男	48	〃 (南ヶ丘小学校)	評議員会会長
林 俊光	男	44	〃 (ひのくに高等支援学校)	
青木 栄	男	53	〃 (湧心館高等学校定時制)	評議員会副会長
光永 新治	男	67	〃 (小中学校退職者)	
小林 敏夫	男	64	〃 (県立学校退職者)	
野田 実	男	60	全体区分 (元理事長)	
東 市子	女	65	〃 (元理事長)	
赤塚 敏	男	65	〃 (元副理事長)	
岩田 智子	女	53	〃 (前理事長、熊本県議員)	
今村 良博	男	54	地域区分 (熊本県教職員組合)	専務理事
竹田 妙子	女	55	〃 (西合志南小学校)	
西嶋 正	男	61	〃 (熊本県教職員組合)	副理事長
平江 佳幸	男	54	〃 (荒尾第四中学校)	理事長
石井 雅臣	男	62	〃 (熊本県高等学校教職員組合)	副理事長
水谷 博子	女	52	〃 (玉名高等学校)	
田川 勝也	男	72	〃 (熊本県退職教職員等連絡協議会)	
正林 民雄	男	65	〃 (熊本県高等学校退職教職員連絡協議会)	
吉永賢一郎	男	38	全体区分 (公認会計士)	代表監事
真嶋 郁子	女	59	地域区分 (合志小学校)	
須藤 哲郎	男	49	〃 (三角中学校)	
石原 哲也	男	47	〃 (熊本支援学校)	
名島 弘和	男	65	〃 (小中学校退職者)	
嶋田 久義	男	62	〃 (県立学校退職者)	

※評議員 12名 (定款の定数は10名以上20名以内)
※理事 12名 (同8名以上12名以内) *監事 6名 (同4名以上6名以内)

きました。(次頁以降参照)

直後に第11回理事会及び第6回監事会を開催し、理事長・副理事長・専務理事及び代表監事の互選を行い、新体制をスタートさせました。さらに7月2日には、第12回理事会、第6回評議員会、第13回理事会を開催し、熊本県議会議員に選ばれた岩田理事の理事長辞任に伴い、新理事長に平江佳幸氏を選任しました。理事は当面は12人、副理事長も2人とし、事業推進体制の確立を図りました。(左表参照)

新たな体制のもと、これからも福祉共済事業や教育文化事業等、先生方や子どもたちのお役にたてる教育会館らしい活動の充実と展開を図っていきます。今後とも皆様のご指導・ご鞭撻、ご支援・ご協力をよろしくお願いたします。



岩田智子

理事長退任あいさつ

2014年4月から理事長に就任して1年と3ヶ月間、たいへんお世話になりました。その間第30次会館共済キャンペーンが行われましたこと、本当にありがとうございました。毎年行っている図書寄贈や学校での寄席等の文化事業で学校を訪問させていただいたこと、たくさん先生にお会いでき、この教育会館の事業にご支援いただけたことなど感謝の気持ちでいっぱいです。また、育児休業中の先生方対象のカムバックセミナーや熊本県教職員組合を窓口にしたパパママ広場にもたくさんの先生方に参加いただきました。地域の拠点として、地域の方々との防災訓練や健康ヨガ教室も実施できました。様々な取り組みが充実してきたのではないかと思います。

これからも教育会館が、より身近で頼りになり、自助共助の精神で運営が続けられますようにどうぞよろしくお願いたします。

平成26年度事業報告

1. 会館の財政運営について

(1)会館の基本資金である会館建設基金(出資金)については、出資依頼を中止しています。そのため、新たな出資者はありませんでした。また、平成25年度から定年で退職される方には3月に出資金の返済を行うこととしています。出資金の返済は、退職等による返済が488人、4,998,000円でした。この結果出資金の残額は88,703,000円となりました。

(2)地代家賃は、100%納入されています。

(3)会議室賃料は前年と比べ約2%の増となりました。

(4)会館共済事業の集金手数料は約2,850万円と減少傾向です。会館共済制度の75歳までの延長でしばらくなかった満期祝金が、5年ぶりに発生しました。また教育会館の特別給付金は、年間給付額も落ちている状況です。

(5)各種引当は、会館共済記念事業準備引当を30次記念キャンペーンのために500万円取り崩しました。なお残金は引当に戻し、現在の引当額は239万円となっています。

(6)会計処理はユース会計社(吉永公認会計士事務所)との契約を継続し、適正な処理と円滑な執行に努めました。

2. 管理業務について

(1)夜間や休日の管理警備は、3名と業務委託契約を結び、会館を常時使用できるようにしています。

(2)安全管理及び設備・備品の保守については、専門業者と保守契約を結び行っています。

(3)災害の未然防止と万一の災害に備えるため、年2回の防火対策委員会を開催して防火管理組織・自衛消防組織を編成するとともに、災害発生時の避難訓練を実施しました。5月30日の避難訓練は、「白川校区5・7町内と合同避難訓練」として実施しました。「災害時の一時避難場所提供における施設利用に関する協定書」を地域自治会と締結しています。今回で3回目となり、今後も継続的に実施していくことにしています。AEDの使い方の講習も行いました。11月21日の避難訓練は、火災発生による避難訓練と、本物の消火器を使い、火災発生時の初期消火のための訓練を実施しました。また専門業者(ユージー防災設備)による消防設備点検を9月5日と3月6日の年2回実施しました。



3. 福祉共済事業について

(1)発足30年目を迎えた会館共済I型「遺族生活給付金共済(生命保障)」は、新規加入者が235名で加入者総数が10,981名となりました。前年より476名の減でした。I型「医療プラン」は、昨年度より214名減の5,344名となりました。導入4年目のI型「介護プラン」は、昨年度3,071名から235名増の3,306名となりました。

加入者の死亡に伴う遺族生活給付金については、平成25共済年度は、死亡11人で給付総額は1億4,500万円でした。また、医療プランの給付は172件で給付総額は1,346万7,000円でした。特別給付金の年間給付額は1,100万円強となっています。

(2)会館共済II型は、新規加入者は8名、退職等により43名の減で加入者総数は818名になりました。

(3)第22次より導入した「傷害プラン」の新規加入者は5名、加入者総数は129名となりました。

(4)会館共済特別給付金の申請に対しては、給付の適正・迅速化を図るために給付審査委員会を毎月2回開催し、半月毎に審査・給付の体制をとっています。

(5)共済事業の制度や運営のあり方等については、制度検討委員会での検討を行い、在職中の方は65歳6カ月まで新規加入を可能にしました。また特別給付金についても出産祝金を誕生祝金にリニューアルし、医療プランの日帰り入院を保障する制度の導入を行いました。



「大規模改修委員会」を平成26年度は5回開催し、特に空調関係の大規模改修について検討しました。空調関係大規模改修については、4月3日に業者への現場説明会を開催し、13日に「大規模改修検討委員会」で業者選定の検討を行い、5月半ばから6月末までに改修を行う予定にしています。設計・監理については大和設計と契約を結び、施工については旭電業(日立特約店)と契約を結び実施します。

死亡・高度障害及び入院給付金

平成21～25共済年度(9～8月) 5年間の推移

平成	死亡・高度障害 給付		入院 給付	
	件数(件)	給付額(円)	件数(件)	給付額(円)
21年度	13	193,000,000	190	14,599,000
22年度	12	160,000,000	193	16,150,000
23年度	19	206,000,000	193	17,297,000
24年度	12	135,000,000	182	16,882,000
25年度	11	145,000,000	172	13,467,000

特別給付金の給付状況

平成26年4月1日～平成27年3月31日

	内容	給付件数		
		前年	今年	
1	入院見舞金	5日以上	226件	248件
		30日以上	29件	28件
		60日以上	16件	18件
2	医療プラン・初期入院(1日～4日)	211件	195件	
3	休職見舞金	14件	11件	
4	出産祝金	106件	118件	
5	退職祝金	117件	115件	
6	満期祝品	25件	0件	
給付 総件数		744件	733件	
給付 総額		11,676,000円	11,390,000円	

4. 教育文化事業について

(1)教育会館設立25周年を記



念して始めた図書券の寄贈を継続しました。これまでの26年間で県内のべ571校に寄贈しました。26年度も寄贈校26校全てを訪問して寄贈しました。これまでの寄贈総額は3,110万円です。

(2)会館共済第25次キャンペーン企画として行った教育会館寄席は、5年目になりました。「会館ニュース」や「ホームページ」にて公募し、3校で開催しました。また会館共済30次記念事業として、教育会館ホール寄席も開催しました。

(3)熊本県かるた協会及び日本将棋連盟熊本県支部の事業を支援し、日本の伝統文化や芸能の振興を図るため、月1回の練習会や大会等に会場を無料で提供しています。

2月22日(日)には熊本県かるた協会主催の「第27回熊本県小中学校小倉百人一首かるた競技大会」を後援しました。今年も県下各地から多数の参加があり、熱戦を繰り広げました。

(4)会館新築移転10周年を記念して、平成18年8月より「教育会館アートのひろば」



を開催しています。熊本県の教育に関係深い方の作品を、教育会館玄関ホールに展示しています。

(5)メンタルヘルス「こころゆつたり講座」を8月11日に教育会館で開催し、臨床心理士の江崎百美子先生(熊本県臨床心理士会会長)のご講演「心と身体を癒すリラクゼーション」と昼食でゆっくりした時間を過ごしてもらいました。参加者は18名でした。

育児休業者現場復帰支援「カムバックセミナー」を11月12日に火の国ハイツで開催しました。県教育委員会学校人事課の川附参事、村山参事にご講演「育児等

アートのひろば開催状況 第9期(平成26年10月~27年5月)

- 10 月期は、作本 浩一氏(玉名市)の油彩画展
- 11 月期は、境屋佐代子氏(宇土市) 川本芙美子(宇城市)の油彩画展
- 12 月期は、梨本マスミ氏(熊本市)の油彩画展
- 1 月期は、横山 博之氏(熊本市)の油彩画展
- 2 月期は、中村 公一氏(天草市)の油彩画展
- 3 月期は、石井小夜子氏(熊本市)の油彩画展
- 4 月期は、福田 次子氏(宇城市)の油彩画展
- 5 月期は、南 洋子氏(熊本市)の油彩画展



に関する諸制度の活用について」と教育政策課福利厚生室の柿原参事にご講演「共済組合関係」をしていただきました。また今回はこれまで要望が多かった「育児休業経験者のお話」を嘉島中の門田教諭にお願いいただきました。その後ティータイムを楽しんでもらいました。情報交換等もできとても好評でした。参加者は54名で、託児は51名でした。

また参加者の方からの要望があり、平成22年12月から始めました「パパママ広場」も、育児休業者の交流の場として、月1回開催が定着し広がりが出てきています。

教職員及び教育会館周辺の地域住民対象の「ヨガ教室」は3年目を迎え、参加者も増加し好評です。

また、教職員向けの電話相談室「レモンガラス」を毎週火曜日に開設していただきます。なお、これまで支援してきた18歳までの子どもへの電話相談活動を行っているNPO法人「ハートライン」は、現在事務局の都合により休止中です。

2) 個人情報保護の適正管理については、個人情報保護基本規程の見直しを行い、またコンピュータのセキュリティシステムの導入及び防犯カメラの設置等を行い、適正運用に努めました。センターの監査体制については、ユース会計社やセンターステム委託先のKISと協議し、その構築を図っています。

5. 事務受託事業(熊本県教職員厚生情報センター)について

(1) センターの運営については、設立加盟団体の熊本県教職員組合、生協くまもと、教育会館で協議を行い、平成27年度からは業務委託契約に基づき教育会館が運営主体となることを確認しました。またシステムをより使いやすくするために改修(修繕)を行いました。利用代金の請求及び収納については、平成26年3月より1年余順調に運用できています。

その他の議案

個人情報保護基本規程

第9回理事会で「厚生情報センターの個人情報保護基本規程」は確認していただきましたが、本体である熊本県教育会館の「個人情報保護基本規程」はできていませんでした。厚生情報センターでの規程に準じてつくっておりません。5月の第10回理事会で承認されました。今後も個人情報の適正管理に努めて参ります。

平成27年度図書寄贈予定校

《寄贈校》 小中学校 26校 県立学校 3校 (重点校 3校)

地区	寄贈校	○は重点校1年目(今年度はなし)	◎は重点校2年目
荒尾玉名	南関第一小学校、小天小学校、玉南中学校		
鹿本	六郷小学校		
菊池	旭志小学校、西合志中学校		
阿蘇	高森中学校		
熊本	中島小学校、城東小学校、春日小学校、菱形小学校、五福小学校、豊田小学校、池上小学校、桜山中学校、城西中学校、富合中学校、天明中学校		
上益城	嘉島東小学校		
宇城	三角小学校		
八代	泉小学校、第七中学校		
人吉球磨	木上小学校		
水俣芦北	湯浦小学校		
天草	阿村小学校、天草小学校		
県立学校	◎天草高等学校倉岳校 ◎苓洋高等学校 ◎小国高等学校		

※図書寄贈の費用は、厚生情報センターから「教育貢献費」として一部負担していただいています。
 ※厚生情報センター加盟団体は、生活協同組合くまもと、熊本県教職員組合、熊本県教育会館です。
 訂正とお詫び 平成26年12月発行の「会館ニュース第81号」の図書寄贈の欄の上段写真を誤って「苓洋高校」としてしまいました。正しくは「小川工業高校」です。ご迷惑をおかけしまして、誠に申し訳ありませんでした。訂正とお詫びを申し上げます。尚、ホームページでも「会館ニュース第81号」の訂正とお詫び」を掲載いたしました。

会館共済 第31次キャンペーンのお礼

熊本県下教職員等の助け合いの制度である『会館共済』31次キャンペーン(保障期間：H27.9.1～H28.8.31)は6月15日を持ちまして、無事に終了いたしました。大変お忙しい中、ご対応いただきましてありがとうございました。31次契約引受証、30次配当金通知書、生命保険料控除証明書等は10月中旬頃お届けいたします。

今年も多くの先生方との出会いに感謝いたします。今後とも会館共済をよろしく願いいたします。

※保険金・給付金等のご請求は3年間となっております。中途加入やプラン変更もできます。何かございましたら、お気軽にお問い合わせください。
 ※住所、改姓等の変更がある場合はご連絡いただきますようお願いいたします。

平成27年度事業計画

《基本方針》

1. 一般財団法人としての機関運営はコンプライアンスを基本とし定款の規定に従います。
2. 公益目的事業の継続のため、収益事業の安定経営に努めます。
3. 教職員が教育に専念できる環境づくりとして、教職員を支える「福利厚生関係団体」相互の連携を図ります。

1. 会館の財政・管理運営について

(1)一般財団法人熊本県教育会館への移行趣旨を基に、定款に従った機関運営を行います。そのため、教育会館を設立した両教職員組合をはじめ、教職員の諸団体や行政当局との連絡を密に行いながら適正な事業執行に努めます。

(2)公益目的実施事業等会計と収益事業会計の区分経理を行い、事業収入と管理経費の適正化を図ります。そのため、2、3年をめぐりに検討をすすめます。また、長期的な公益目的実施事業の継続のための事業環境を作ります。

(3)個人情報保護の重要性を踏まえ、法令およびその他の規範に基づき、個人情報適切に取り扱うようにします。またそのための会館の規定整備等をすすめます。会館の会員管理は会館内に設置した「熊本県教職員厚生情報センター」において行います。

(4)教育会館の安全管理のため、関係機関と連絡を密に行い保守体制を堅持します。また、熊本市中央区九品寺自治会の「地域指定一時避難場所」の指定を受け、災害時に地域住民に施設の一部を提供できる体制を整えます。

会館の改修については「大規模改修検討委員会」で協議をすすめる、1、2年をめぐりに今後の改修計画の策定を行います。空調関係については喫緊の課題であり今年度改修を行います。

(5)「教育会館ニュース」を発行し、教育会館設立の目的や現状を全教職員に知らせます。また、教育会館ホームページを活用して、情報の開示と発信に努めます。

2. 福祉共済事業について

(1)会館共済を継続します。団体保険としての「更新」手続きについては、更新時期(キャンペーン)の対応が教職員にとって「分かりやすく、手続きしやすい」ものとなるように改善を続

けます。

(2)熊本県下の教育関係者の要望をもとに、制度検討を進めます。

3. 教育文化事業について

(1)図書寄贈を継続します。寄贈校の選定にあたっては制度検討委員会を開催し決定します。

(2)県下の教職員のため、メンタルヘルス「こころゆったり講座」を8月11日(火)、育児休業者現場復帰支援「カムバックセミナー」を11月11日(水)に、「パパママひろば」を原則毎月第2水曜日に開催します。

また、教職員及び教育会館周辺の地域住民対象の「ヨガ教室」を原則毎月第1木曜日(午前) 第3木曜日(夜)開催します。

(3)熊本県下の児童・生徒のための「会館(学校)寄席」を、10月21日(水)、22日(木)、23日(金)に開催します。

(4)「県かるた協会」「日本将棋連盟熊本県支部」の活動に協賛し、会場の提供等を行います。

(5)教職員の電話相談室「レモンガラス」を継続します。またNPO法人「ハートラインくまもと」の子ども電話相談活動(現在休止中)を支援します。

(6)教育会館ロビーを活用した「アートのひろば」を継続します。

4. 事務受託事業(熊本県教職員厚生情報センター)について

(1)生活協同組合くまもと及び熊本県教職員組合との業務委託契約に基づき、効率的な組織・運営体制を構築し、財務の健全化に努めます。

(2)個人情報の適正管理については、法令及び諸規定等に従い、適正運用に努めます。

パパママ広場

～育休中の教職員のために～



育休中の先生方のために癒しとおしゃべりの場所を準備しました。毎月第2水曜日10時～15時、教育会館2階の一室を解放します。午前中は楽しいイベントがあります。お昼はお弁当をご持参下さい。毎月のイベントのお知らせは教育会館のホームページに公開いたします。先着10組で締め切ります。

7月8日	ベビーマッサージ
8月12日	育休復帰の学校現場
9月9日	赤ちゃんのための救急手当法
10月14日	絵本の読み聞かせ
12月9日	クリスマスオーナメントづくり
1月13日	リトミック音楽遊び
2月10日	エコクラフト
3月9日	復帰にむけての権利学習会

カムバックセミナー

～育児休業者現場復帰支援～

育児休業中の教職員が現場復帰する際に、子どもを抱え大きなストレスを感じています。少しでも不安を解消してスムーズに現場復帰できるように、県教育委員会、公立学校共済組合にご協力いただき開催します。

日時：11月11日(水) 13:30～16:15
会場：火の国ハイツ 熊本市東区石原2丁目2-28

内容：セミナー
◎育休等に関する諸制度の活用等について(予定)
◎現場復帰に伴う諸手続き等について(予定)

ティータイム
◎質問や情報交換

参加対象：公立学校に勤務する教職員で育児休業を取得中または予定の方70名(託児もあり)

申込：「教育会館ホームページ」に、9月より申込方法を掲載予定

(応募者多数の場合は、会館共済加入者を優先いたします。)

熊本県教育会館 TEL 096-372-3800 担当(緒方・福永)

こころゆったりヒーリングセミナー

～たまには自分にごほうびを～

ただ今募集中!!

忙しい毎日をご過ごされる教職員に、ゆったりとした時間、自分を見つめなおす時間をご提供するために開催します。

日時：8月11日(火) (受付)9:45～
内容：第1部 セミナー 10:00～11:30

講師 日赤熊本健康管理センター 保健看護課 地域産業保健係長 後藤由美子さん
演題：「上手なストレスコントロール法」

第2部 会食 12:00～13:00(解散)
※ちよっと豪華なランチタイムです。

会場：熊本県教育会館 熊本市中央区九品寺1-11-4

対象：教職員 20人程度(定員になり次第締切ります)
参加費 1,000円(当日受付いただけます)

申込：7月31日(金) 15:00までに、電話で熊本県教育会館 096-372-3800 担当(緒方・福永)

教育会館(学校)寄席

予定校

10月21日(水)	湯前中学校
10月22日(木)	八代市立宮地小学校
10月22日(木)	湧心館高校(定時制)
10月23日(金)	黒石原支援学校

出演予定

落語：柳家さん喬
落語：柳家喬之助
太神楽：翁家 和助
三味線：太田 その



来年度の会館寄席開催の詳細については、平成28年1月下旬にホームページ掲載予定です。